

令和 7 年度 第2回裾野市環境審議会 要旨

日 時	令和 7 年 8 月 20 日(水) 15:00～17:00
場 所	市役所 4 階 401 会議室
出席者	委員 8 人（欠席委員 1 人）
	事務局 5 人（環境市民部長 生活環境課長 他課員 3 人）
<p>1 開会 委員 9 人中 8 人の出席 裾野市環境審議会規則第5条第2項に基づき審議会の成立を確認</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 議事 審議会規則第 5 条第 1 項により会長が議長となり進行する 議題 第 3 次裾野市環境基本計画(案)の内容確認 ◎ 第 1 章～第3章の修正点について 事務局が説明 【第 1 章について】 <意見・質問(⇒回答)> ・ 注釈が入ってわかりやすくなったが、わかりにくい注釈もあるのでもう少しわかりやすくしてほしい ・ 評価として適正か疑問があるものもあるので、第 4 章主体別の取り組みではもう少し改善や検討が必要と感じる <まとめ> ・ 脚注をもう少しわかりやすくという意見があった ・ 疑問点については事務局側の即答は難しいと思うが、この場は意見をいただく場としてとらえていただく 【第 2 章について】 <意見・質問(⇒回答)> ・ P20 の3-5と P21 の3-6は「生物」という枠組みとしてはいかがか ・ P24 不法投棄の件数は警察からの情報が含まれているか ⇒ 含まれていない ・ P26 太陽光・風力発電に関する規制について記載されているが、3-1保護地域に該当する内容ではないか ・ P27 補助を休止している内容とタイトルが一致しておらず、誤解を招く可能性があるため修正を ・ P30 グラフの資料提供担当部署が違うのではないか ⇒ 修正する ・ P13 市街地の拡大と P16 空き家問題の記載は矛盾していないか。市街地が拡大することに伴い将来的に空き家が増加する可能性についての対応も計画しているという記述があっても良いのではないか。</p>	

<まとめ>

- ・ 空き家に関する記述を含めその他意見を検討してください

【第3章について】

<意見・質問(⇒回答)>

～望ましい環境像について～

- ・ 水・緑・人が調和している部分は良いフレーズだと思う
- ・ 循環という言葉はしっくりこない
- ・ 循環という言葉は「めぐりのある」「つながり続ける」という意味となるようだ
- ・ 「循環」や「SDGs」という言葉より絶えず変化する自然へ「適応していく」「合わせていく」という言葉のほうが良いと感じる

<まとめ>

- ・ 意見を参考に事務局で再考する

◎ 第4章について

事務局が説明

【環境目標1】

<意見・質問(⇒回答)>

「各主体の共通目標」について

- ・ 大気汚染・悪臭などの苦情件数が大気環境基準達成率に変わっている
- ・ 生活排水処理率について県と市の比較数値を確認したい
- ・ 生活排水処理率で中間目標と計画目標が同率である理由は
⇒ 人口減少と下水道の普及を加味しての数値である
- ・ 大気環境基準達成率の対象成分は二酸化硫黄より二酸化窒素を対象とすべきではないか
⇒ 観測データがあるもので対応している
- ・ 河川環境基準は正しいか？
⇒ 誤りがあるので修正する

<まとめ>

- ・ 計測が可能であれば二酸化窒素の測定を検討いただきたい
- ・ 3つの指標は良いが数値は検討いただきたい

【環境目標2】

<意見・質問(⇒回答)>

「各主体の共通目標」について

- ・ 間伐と耕作放棄地の解消面積については実施可能な目標ではなく、本来達成すべき目標とすべきではないか
- ・ 本来なら耕作放棄地の増加を調べて、調査結果に基づく目標を設定することが望ましい
- ・ 生活排水処理率で中間目標と計画目標が同率である理由は
⇒ 人口減少と下水道の普及を加味しての数値である
- ・ 大気環境基準達成率の対象成分は二酸化硫黄より二酸化窒素を対象とすべきではないか
⇒ 観測データがあるもので対応している
- ・ 河川環境基準は正しいか？
⇒ 誤りがあるので修正する

<まとめ>

- ・ 耕作放棄地が拡大していく中で、解消面積の本来目標を立てるのは難しいが、間伐と耕作放棄地の数値に関してはもう一度整理してご検討いただきたい
- ・ 5つの指標は良い

【環境目標3】

<意見・質問(⇒回答)>

「各主体の共通目標」について

- ・ 資源化率の対象について確認
- ・ 資源化率の分子と分母を記載すべき
- ・ ごみ焼却量の単位を年単位とした理由は
⇒ 第2次計画の埋立量が年単位であり、そちらに合わせた
- ・ ごみの焼却量は年単位ではなく一人1日当たりという単位のほうが市民にとって取り組みやすい
- ・ 「ごみの焼却量」より「焼却ごみ量」とした方がよいのではないか

<まとめ>

- ・ 1人当たりのごみの焼却量を明示すること
- ・ 資源化率の脚注説明を加えること
- ・ 市民一人当たりのごみ排出量を復活掲載することで、2つの指標を3つにすること

【環境目標4】

<意見・質問(⇒回答)>

「各主体の共通目標」について

- ・ 4つのうち3つがほぼ緩和策となっているが、本来はいかにCO₂などの原因をなくすかということが指標となる
- ・ 気候変動に対していかに対応するかが必要であり、熱中症搬送者数だけでは足りない
- ・ 広報などによる市民への周知数を目標としたら良いのではないか
- ・ 最初の3つの指標はどのように算出したのかコメントがあるとわかりやすい
- ・ ソーラー発電設置件数がわかると気候変動にもつながるのではないか
⇒ 補助件数は把握できるが、全体の設置件数は把握が難しい
- ・ 第2次計画の指標であった燃料電池と太陽光についての指標が削除された理由は把握が難しいからか。だとすればそれに代わる指標はないか
- ・ 熱中症搬送者数よりも再エネ関係指標の方を載せた方が良い
- ・ 環境目標が地球温暖化から気候変動に変更されていたが、気候変動に関する指標がないが理由は
⇒ 気候変動については次回第5章で審議いただく予定。また、気候変動対策に関する指標はいままでなかったこともあり現時点で目標を立てにくい、次回の第5章で検討した内容を指標として検討する予定

<まとめ>

- ・ 再生エネルギーの普及に関する環境指標の掲載について検討いただきたい

【環境目標5】

<意見・質問(⇒回答)>

「各主体の共通目標」について

- ・ 講座の開催数ではなく参加者の増加がわかる指標とした方が良いのではないか
- ・ 例えば市民が行う環境活動に関する表彰制度により、その応募件数を増やすとか、環境関連の市民提案の数を指標にするなどのような、参加者数、開催数、認

定団体数を指標とする以外に何か指標となるものがないか

- ・ 子供を核にした、持続性があり、それが将来の世代に渡って伝えることができる環境教育となるような指標はないか
- ・ イベントや講座後のアンケートを取れば指標になるのではないか

<まとめ>

- ・ 指標評価については開催数や参加者数を指標とする点については検討する必要があるという意見があるなかで、大人と子供を含んだ人数の指標についてさらに検討いただきたい
- ・ 2つの指標の中で、数値として開催数ではなくて参加数ということと、それに代わるアンケート調査やコンクール等への出展数などが指標になる可能性について検討いただきたい

◎ 第7章について

事務局が説明

<資料の訂正>

- ・ P50 PDCA の DO について、環境市民会議は現在活動をしていないため、3項目目を削除

<意見・質問(⇒回答)>

- ・ P48、P49 の環境市民会議の記載も削除が必要となる
- ・ 環境市民会議が無くなると市民は直接市とやり取りをすることになるのではないか

<まとめ>

- ・ 本日の意見を参考にして計画作成をしてください

4 その他

今後のスケジュールと次回開催日について

- ・ 第3回審議会は10月下旬～11月上旬に開催。議事は第5章、第6章の検討。

5 閉会

17:00